2023 年漁業センサス 海面漁業調査 (漁業経営体調査) (速報) - 高知県分【概要】-

○ 漁業経営体数は、前回調査 (H30) と比べ、254 減少 (△15.9%) の 1, 3 4 5 経営体

- ・漁業層別では、「海面養殖層以外の沿岸漁業層」が223経営体の減少(△16.9%)
- ・販売金額別では、「100~500 万円未満」が 162 経営体減少 (△29.8%) する一方、「5,000 万円~1 億円未満 (2経営体増)」や「10 億円以上 (4経営体増)」では増加

○ 漁業就業者数は、前回調査と比べ、674人減少(△20.5%)の2,621人

- ・性別では、「男性」が622人減少(△19.7%)
- ・年齢別では、「60~64歳」と「65~69歳」を合わせて391人減少(△40.8%)
- ・新規就業者数は、6人増加 (+9.2%) の71人

○ 漁船の隻数は、前回調査と比べ、455隻減少(△18.0%)の2,069隻

・全体の7割超を占める動力漁船では、「3トン未満」と「5トン未満」を合わせて324隻減少(△27.5%)する一方、「5~10トン未満」は30隻増加(+8.2%)

(高知県)

	平成30年	令和5年	増減数	増減率
○漁業経営体数(全国順位)	1,599 (20位)	1,345 (19位)	△ 254	△ 15.9 %
〈集計項目別にみた主な減少要因〉 ・小海区別 : 幡多海区 ・漁業層別 : (沿岸)海面養殖層以外 ・経営組織別 : 個人経営体 ・販売金額別 : 100~500万円未満 〈参考〉	実数 構成比 788 49.3% 1,323 82.7% 1,507 94.2% 543 34.0%	実数 構成比 658 48.9% 1,100 81.8% 1,252 93.1% 381 28.3%	△ 130 △ 223 △ 255 △ 162	△ 16.5 % △ 16.9 % △ 16.9 % △ 29.8 %
・漁業種別経営体数(全国順位) (釣)ひき縄釣 (釣)沿岸かつお一本釣り ・販売金額別:5,000万円~1億円未満 ・販売金額別:10億円以上	338 (4位) 98 (2位) 実数 構成比 36 2.3% 7 0.4%	317 (5位) 97 (2位) 実数 構成比 38 2.8% 11 0.8%		
○漁業就業者数(全国順位)	3,295人(20位)	2,621人(19位)	△ 674 人	△ 20.5 %
〈集計項目別にみた主な減少要因〉 ・性別 : 男 ・年齢 : 60~69歳	実数 構成比 3,160 人 95.9% 959 人 29.1%	実数 構成比 2,538 人 96.8% 568 人 21.7%	△ 622 人 △ 391 人	△ 19.7 % △ 40.8 %
○新規就業者数 (全国順位)	65人(8位)	71人(8位)	+ 6人	+ 9.2 %
○漁船の隻数(全国順位)	2,524隻(21位)	2,069隻(21位)	△ 455 隻	△ 18.0 %
〈集計項目別にみた主な減少要因〉・動力漁船 : 5トン未満〈参考〉・動力漁船 : 5∼10トン未満	実数 構成比 1,177 隻 46.6% 364 隻 14.4%	実数 構成比 853 隻 41.2% 394 隻 19.0%	△ 324 隻 + 30 隻	△ 27.5 % + 8.2 %

〈参考〉全国(39都道府県)

_ (2						
	平成30年	令和5年	増減数	増減率		
○漁業経営体数	79,067	65,652	△13, 415	△ 17.0 %		
○漁業就業者数	151,701人	121,230人	△30,471人	△ 20.1 %		
○新規就業者数	1,862人	2,020人	+ 158人	+ 8.5 %		
○漁船の隻数	132,201隻	109,247隻	△22,954隻	△ 17.4 %		

※今回の公表は速報結果であり、今後、公表する「高知県の漁業」及び農林水産省が公表する確報結果と相違することがあります。 ※当速報は、海面漁業調査のうち、「漁業経営体調査」の本県分についてとりまとめたものです。

【調査の対象】

本県では沿海の19市町村に所在する海面漁業経営体のうち、過去1年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所が対象です。

ただし、過去1年間における漁業の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は対象外です。